



ごみ減量・リサイクル
推進啓発キャラクター
メビウスちゃん



●編集・発行 仙台市環境局家庭ごみ減量課
●電 話 214-8226

あなたとわたしの声をつなぐクリーン仙台推進員のコミュニケーション情報誌

仙台市環境局からのお知らせ	1 P
アレマ隊員にインタビューしました	2 P
小型家電もリサイクル	3 P
排出実態調査を実施しました	4 P

問：環境共生課 214-0013



↑ツキノワグマ
対策のページは
こちらから

◆冬眠明けのクマに注意!
春は冬眠から目覚めたクマが山菜などのエサを求めて、人里近くに出没することがあります。クマは雑食性のため、生ごみに引き寄せられることもありますので、屋外に長時間生ごみを放置せず、ごみを出すときは臭いがもれないよう気を付けましょう。

クマは、早朝や夕方に活発に活動します。万が一クマに出合った場合には慌てず、向き合ったままゆっくり後退しましょう。また子グマを見つけたら、近くに母グマがいることが多いため、絶対に近づかないでください。

なお、クマに関する情報は市ホームページ(サイト内検索で「ツキノワグマ対策」と検索)をご覧ください。

◆活動報告書をご覧ください
クリーン仙台推進員の活動報告書がまとまりました。報告書は市ホームページに掲載していますので、ご覧ください。

問：家庭ごみ減量課 214-8226



問：脱炭素政策課 214-8232



↑長町児童館での設置例



←環境局公式
Instagram
アカウント

◆朝顔などの種子を無料配布
緑のカーテンで夏を涼しく

町内会等の団体や施設、ご自宅などで緑のカーテン設置に取り組んでみたい方に種子を無料配布します。ご希望の方は、左記の配布場所までお越しください。その他の配布場所については仙台市環境局公式ホームページをご覧ください。(なくなり次第終了)

■配布場所：
・環境局脱炭素政策課
(仙台市青葉区二日町6-12 MSビル5F)
・せんだい環境学習館たまきさんサロン(仙台市青葉区荒巻字青葉468-1)
・各区役所・総合支所等

■配布種子：
・ゴーヤ(1袋5粒入り)
・西洋朝顔(1袋10粒入り)
・風船かずら(1袋10粒入り)

排出実態調査を実施しました

令和6年11月の「排出実態調査」は、472名の推進員と807名の地域の方に、1,316カ所の集積所を調査していただきました。ご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。調査結果を集計しましたので、ご報告します。

【家庭ごみの排出状況】

①指定袋の使用割合	指定袋を使用 78.7%	指定袋以外を使用等 21.3%			
②指定袋のサイズ内訳	大 29.0%	中 35.0%	小 22.9%	特小 13.0%	バケツ 0.1%

家庭ごみへの混入が多かったもの

1位 雑がみ 2位 プラスチック製容器包装 3位 紙パック 4位 製品プラスチック 5位 新聞紙

【プラスチック資源の排出状況】

①指定袋の使用割合	指定袋を使用 99.0%	指定袋以外を使用等 1.0%			
②指定袋のサイズ内訳	大 31.7%	中 47.0%	小 20.7%	発泡スチロール 0.6%	
③プラ資源以外の混入物内訳	粗大ごみ 4.2%	医療系廃棄物 1.1%	小型家電 1.5%	缶びん等 53.5%	その他家庭ごみ 39.7%

【缶・びん・ペットボトル等の排出状況】

①フタが外されている(ペットボトル)	9割以上 69.0%	8~6割 25.1%	5割未満 5.9%
②ラベルがはがされている(ペットボトル)	9割以上 62.2%	8~6割 30.1%	5割未満 7.7%
③つぶされている(ペットボトル)	9割以上 12.4%	8~6割 34.2%	5割未満 53.4%
④つぶされていない(缶)	9割以上 67.3%	8~6割 25.0%	5割未満 7.7%
⑤フタが外されている(びん)	9割以上 60.4%	8~6割 26.3%	5割未満 13.3%
⑥きれいな状態	9割以上 75.1%	8~6割 22.8%	5割未満 2.1%
⑦電池類が透明な袋に入っている	9割以上 68.0%	8~6割 13.4%	5割未満 18.6%
⑧電池類は絶縁されている	9割以上 46.9%	8~6割 12.4%	5割未満 40.7%
⑨ビニール袋でだされている	黄色の回収箱が足りない ときのみ 51.8%	いつも 48.2%	
⑩小型充電式電池類がだされているか	出されている 5.1%	出されていない 94.9%	

【紙類の排出状況】

①品目別に分類している	9割以上 69.0%	8~6割 24.7%	5割未満 6.3%
②正しく排出されている(ひもで十文字に縛られている等)	9割以上 49.5%	8~6割 34.8%	5割未満 15.7%
③ビニール袋や紙箱でだされている(雑誌・雑がみ)(正)	1~5個 30.5%	6個以上 3.5%	なし 66.0%
④ビニール袋や紙箱でだされている(新聞・段ボール・紙パック)(誤)	1~5個 25.8%	6個以上 1.1%	なし 73.1%
⑤紙類が段ボールや缶箱で出されている(誤)	1~5個 31.0%	6個以上 1.5%	なし 67.5%

調査の結果、ほとんどの項目で6割以上が適正に排出されていました。しかし、約5割の集積所でペットボトルの半分以上がつぶされていない状況があるようです。使用する黄色の回収容器の数を減らして、収集作業を効率化するために、**ペットボトルをつぶして出していただく**ことの更なる周知に、ご協力をお願いいたします。

(問) 家庭ごみ減量課 214-8227

小型家電もリサイクル



ご家庭で使わなくなった小型家電には、金、銅などの有用な金属が含まれており、貴重な資源です。仙台市では、これらの小型家電を回収しリサイクルを行っています。

方法1 ボックス回収(無料)



区役所やスーパーなどに小型家電回収ボックスを設置し回収しています。

①投入口に入るものが対象です！(投入口の大きさ：15cm×30cm)

②外せる電池・バッテリー・メモリーカードは外してください！

③個人情報情報は消去してください！

※設置場所は右の二次元コードからご確認ください！



回収する小型家電の例



方法2 民間事業者の回収(一部無料)

仙台市と協定を結んでいるリネットジャパンリサイクル(株)では宅配便での回収をしています。仙台市内在住でパソコン本体を含む小型家電の回収を申し込んだ場合、回収料金が無料になります。また、家電量販店(ケーズデンキ、ヨドバシカメラ)の店頭・訪問回収、(株)青南商事で運営している無人リサイクル施設「リサイクルモア」でも小型家電を回収しています。詳しくは各社のホームページをご覧ください。

危険！リチウムイオン電池等が外せない小型家電の分別にご協力ください！

小型家電に使用されているリチウムイオン電池は、非常に燃えやすいため、ごみ収集時やごみ処理施設での処理時に圧迫されると、発火や破裂を起こす場合があります。

そのため、リチウムイオン電池等が外せない小型家電は、家庭ごみやプラ資源の指定袋に入れて出してはいけません。本体の端子部分に透明なテープを貼って絶縁し、透明な袋に入れて、「缶・びん・ペットボトル、廃乾電池類」の収集日に黄色の回収容器へ出してください。

主な対象機器

モバイルバッテリー、携帯電話、スマートフォン、ワイヤレスイヤホン、電気シェーバーなど



アレマ隊員にインタビューしました

「アレマ隊」とは「ポイ捨て」の現場を見たら「アレマ！」と驚き、ごみ拾い活動をする事で、「ポイ捨て反対！」の意思表示を行う人たちのことです。

今回は、「アレマ隊」として活動されている方のインタビューをご紹介します。

株式会社TOHO

電気設備の設計・施工から通信設備の施工などを行う株式会社TOHOは、電気に関する地域の困りごとを解決する「住まいのおたすけ隊」の事業も行っていきます。

— ごみ拾い活動を始めたのはいつごろですか。

早川さん：

6年ほど前です。私たちの経営理念の「豊かな暮らし」と「住みよい社会」を皆さまに実感していただくために、私たちに何ができるのかを考え、その一環として、まずはごみを拾うという活動を通して、地域に根ざす企業になろうと思いました。将来的に、「TOHOがこのまちにあってよかったね」と思っただけだったらうれしいですね。

— どれくらいの頻度で行っているのですか。

大崎さん：

当初は年4回ほどでしたが、現在では3月・6月・9月・12月に実施するのに加えて、不定期で2回、約30分かけて、社員全員で行っています。エリアは太白区柳生2丁目を中心に、1丁目と7丁目も加えた範囲を設定し、3つの班に分かれて効率よく作業を進めています。私自身は、普段からカバンやポケットにごみを集める袋を忍ばせておき、通勤途中に見つけては拾っています。

— 今後の目標をお聞かせください。

大崎さん：

ご近所にも同様の活動を行う地域企業がいくつかありますので、その方々と連携して一斉清掃を実現したいと考えています。

早川さん：

ごみ拾い活動を経験する人が増えれば、ごみを捨てない意識が高まり、地域の美化がさらに進むと期待しています。実は、私は柳生・西中田商工振興会の会長を務めており、地域のイベントに参加する機会が多くあります。子どもたちを対象にした「カブトムシバトル」などは、私が企画から運営までを行っており、今年も多くの子どもたちに楽しんでもらえました。これからも学校や町内会とも協力しながら、ごみ拾い活動を始め、地域を盛り上げるようなことができたらと思っています。



代表取締役社長
早川 英雄さん(右)

安全品質責任者
大崎 雄一さん(左)



「アレマ隊」の詳細は、左の二次元コードからご覧ください。

問：家庭ごみ減量課 214-8227